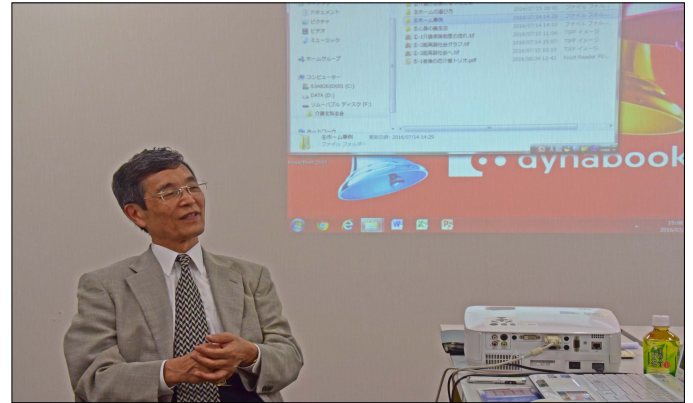


////////////////////////////////////NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

7月の「どんぐりsカフェ」から 介護保険制度の現状と不安議論

7月16日の「どんぐりsカフェ」は、「高齢者介護活動の実態を知ろう」をテーマに、鹿島建設で新規事業の有料老人ホームの事業計画に携わり、定年後に介護付き有料老人ホームを立ち上げた村上孝雄さんの講演を聞いた＝写真。

現行の介護制度のしくみや介護サービスの種類、さらに介護保険制度が必要になった時の具体的な利用の仕方。老人ホームの選び方を紹介される中で、当事者に合った施設を選択する為の情報を示して頂いた。参加者からはいろいろ



な入所施設の選択肢が沢山あるのは分かったが、実際に高齢者が入所を検討する場合、例えば夫婦2人のうちのどちらかが入所すると、残った方は年金での生活が難しく自宅での老々介護を選択せざるを得ず、結局、「老人ホームの選択肢が無いというのが実感」という意見も出された。また若者からは、講演を聞いて将来自分達が責任を負わないといけない不安を強く感じた、という感想もあった。(浪川 昇三)

どんぐりsから

● 「すまい・暮らし相談」事業を開始して1年、本号で報告したように3年連続で愛知建築士会地域貢献活動助成金が認可されたことに表れているように、いろいろのところで、その活動が少しずつ評価されてきていると感じている。ただ、今回の認可に際して愛知建築士会から“相談事業におけるさまざまな組織・団体と連携強化”を宿題としていただいた。私たちもそのことを意識してはきたものの、なかなか進展しなかったというのが実情である。

●そんな折、春日井市創生課の仲介で、高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議主催のセミナーの一環として、どんぐりsの「すまい・暮らし相談会」が開催されることになった。目下、創生課とその具体的内容の検討を進めている。

●また、「暮らし」の相談についても、近々、春日井市の担当課職員と話を予定で、ここにきて行政との連携が一気に拡がろうとしている。こうした連携が、「市民協働」の実現にさらに一歩近づくことができればと願うこの頃である。(藤城 栄一)

8月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：あなたの家は地震大丈夫？
講師：山上薫（一級建築士、当会すまい相談員）
日時：8月20日（土）、13.30-16.00
会場：東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）
参加費：500円。

すまい相談&困りごと生活相談

●まずはお電話ください：
080-4540-3553（どんぐりS事務局）
面接相談会日時：
8月28日（日） 13.30～16.00
9月11日（日） 14.00～16.00
会 場： 東部ほっとステーション

「押沢台夏祭り」に本会が出店 アユ・おもちゃも完売

8月6日の夜、押沢台夏祭りは気がかりだった夕立もなく家族連れでぎわった。「どんぐりs」は、名物となった「アユの塩焼き」に加えて、光るおもちゃを並べた「おもちゃランド」を新たに出品＝写真。5時半の開始からアユを楽しみ



私の朝・昼・晩

日本語と中国語

日本語には昔から中国語の影響を受けたところが随所にみつかるといえる。漢字は言うまでもないが、例えば中国語には四声というのがあるが、例えば中国語には四声というのがあるが、関西弁にも三声の表現があり、その名残だと想像している。また「是的」は「そうです」という意味で、「シーダ」(≡そくだ)と発音するし、「听不?=チンブドン」「看不?=カンブドン」は分からないという意味になるが、「ちんぷんかんぷん」の語源となっている。以前から中国語に取り入れられた日本語も多くみられるが、最近では、ご存じの「カラオケ」をはじめ、「かわいい」や「人気」「年金」「過労死」「熟女」「萌系」「玄関」「量販店」などがあり時代を反映していて面白い。

ちなみに言葉ではないが、中国人の老若男女の中で一番人気の歌はおそらく「北国の春」だろう。このような一般庶民レベルでの文化が知らぬ間に浸透しているのが興味深い。政治の壁は高いが、文化の壁は案外低いものだと感じている。

(長谷川 光男)

にしていたお年寄りから、着飾ったかわいいお孫さんまでで大賑わい。今年の「アユの塩焼き」は昨年の反省から「塩は化粧塩程度、じっくり焼き上げる」の原則を徹底的に守り、味の評判も例年より高かった。アユを焼く香りに惹かれ、後半は長い行列ができるほどの繁盛ぶり。一方、おもちゃ売り場は初の経験だったが、まだ明るいうちに完売状態。エネルギーな子供の世界に触れた新しい驚きだった。

アユを焼き続けた会員たちは大粒の汗をかきながら火との格闘ではあったが、大勢の笑顔に会えたことで疲れは吹っ飛んだ。利益は貴重な会の活動費となる。

(寺島 靖夫)

ホームページを大幅に刷新・充実

高蔵寺ニュータウン再生市民会議(どんぐりs)のホームページが、このほど大幅に刷新しました。諸般の事情で閉鎖した「高蔵寺ニュータウン便利帳」の人気コーナーを移した「どんぐりsひろば」を開設、周辺の見どころを探る「高蔵寺ぶらり」、随筆・小説・詩歌・写真など作品を載せる「文芸・アート」、政治や社会に関する思いを語る「主張・評論」、国内外の旅の思い出を発信する「旅を語る・旅を想う」、市民団体や趣味の会などを紹介する「高蔵寺のサークル倶楽部・NPO法人・諸団体」の五つのコーナーを設置。同時に、「どんぐりs文庫」を「資料室」と改称し内容も充実しました。



ザトウクジラ (沖縄県慶良間諸島) 森 健

愛知建築士会から相談事業に助成金

愛知建築士会からこのほど、「どんぐりs」の「すまいとくらし相談事業」に対する助成金(10万円)の認可通知が届きました。助成金は3年連続で、本会の事業が社会的に評価されたことの証だと思っています。目下、更なる充実を目指した助成金の有効活用を検討中です。